

上桂川対策特別委員会

日 時 平成24年5月24日(木) 午前10時 ~
場 所 現地視察後、第3委員会室

1 開 議

2 議 題

(1) 保津工区現地視察

(2) 平成24年度事業計画と今後の見通しについて

3 その他

上桂川対策特別委員会

平成24年 5月24日(木)

まちづくり推進部

桂川・道路整備課

桂川河川の最近の進捗状況について

1 桂川改修計画の概要について

[治水対策の基本方針]

- ア 日吉ダムの完成により、洪水調節機能の活用を図り下流の流出量を調節させる。
- イ 河道の河積拡大、築堤、護岸整備により疎通能力の拡大を図る。

(1) 日吉ダム(独立行政法人 水資源機構)

平成10年4月1日より管理を開始している。

(2) 河道改修

①京都府管理区間(亀岡工区)

保津峡入口から旧保津橋までの保津工区については、日吉ダムの洪水調節とあわせて、当面計画(昭和57年出水対応)に基づく河道改修を促進し、平成21年度事業で概成した。

今後は、当面計画に引き続き、着実な治水安全度の向上を図るため、戦後最大洪水を安全に流下させることを目指し、上下流バランスを確保しながら段階的に河道改修を進める。

あわせて、人々の暮らしと深く関わり続けてきた保津川の歴史や文化を踏まえながら、河道改修に伴い新しく生まれた広大な河川空間を有効に利活用していくため、平成22年度に川をいかしたまちづくり、まちをいかした川づくりとして「保津川かわまちづくり計画」を策定し、平成23年度には、保津川かわまちづくりに関係する様々な主体に参加いただき「保津川かわまちづくり推進協議会」を設置した。この協議会では、具体的な実施主体や整備手法などを協議・調整する場として更に5つのWGを設置し、亀岡市と連携してその実現に取り組む。

また、引き続き千々川等において河川改修事業を実施していく。

②国土交通省管理区間(嵐山より下流)

平成21年3月に策定した淀川水系河川整備計画に基づき、戦後最大洪水を安全に流下させることを目指し、今後概ね30年間で河川整備を順次進めていくこととしている。

このため、桂川最下流で流下能力の低い伏見区大下津地区では、約2.4kmの築堤工事が進められている。

このうち淀大下津町700m区間においては、家屋移転が全て完了し築堤工事が完成。上流の淀水垂地区900m区間、淀樋爪地区800m区間においては、家屋移転と合わせ引き続き用地取得を進めていく。

また、桂川の現況流下能力や近年の被災状況等を踏まえH16年10月台風23号の実績洪水を安全に流下できる河川整備(河床掘削等)を実施することとしており、昨年に引き続き、順次掘削に着手する予定である。

2 保津工区における主な経過

平成62年9月	保津橋下流工区改修計画案を公表
平成63年8月 ～平成元年1月	保津橋下流工区各地域(延長2.3m 保津町、亀岡地区、篠町)の 同意を得て、現地の測量を実施
平成2年度	3段階(当面計画、暫定計画、基本計画)の実施計画を策定
平成3～4年度	保津町、亀岡地区、篠町に計画幅を示す目安杭を設置
平成5年度	当面計画の第1段階の進め方(第1期整備計画)について関係地域、 地権者及び関係機関に説明を実施
平成6～7年度	第1期整備計画の用地測量(篠町山本、保津町八ノ坪・閑谷)の実施
平成8年度	第1期整備計画の用地取得に着手
平成9年度	第1期整備計画の本工事に着手(鵜ノ川床止工の施工) 保津橋架け替え工事に着手
平成10年度	第1期整備計画の築堤工事に着手 第2期整備計画の地権者調査に着手(保津町[桂川右岸]地区、西川、 年谷川、雑水川地区)
平成11年度	第2期整備計画の用地測量に着手
平成12年度	第2期整備計画の用地取得に着手 第1期整備計画の築堤工事完了
平成13年度	保津橋架け替え完了 第2期整備計画の築堤工事に着手
平成14年度	下河原樋門等の重要構造物に着手
平成15年度	国の短期集中型事業として緊急対策特定区間の設定を受ける 第1期整備計画の用地取得完了
平成16年度	保津橋下流～雑水川間の桂川本川築堤工事に着手 雑水川に架かる市道橋の架け替えに着手 鵜ノ川(高橋下流)の築堤が概成
平成17年度	支川西川の築堤工事に着手 雑水川に架かる市道橋の架け替え完了 年谷川に架かる葛原橋、西川に架かる下流農道橋の架け替えに着手 雑水川、千々川に架かるJR橋梁の架け替えに着手
平成18年度	桂川本川高水敷の掘削工事に着手 西川に架かる上流農道橋に着手 桑の木樋門、向嶋樋門、準用河川東川樋門に着手

- 平成 19 年度 桂川本川高水敷の掘削工事を実施
雑水川に架かる農道橋に着手。雑水川取水堰の改築完了
八ノ坪樋門、六ノ坪樋門、葛原樋門に着手
- 平成 20 年度 本川・支川の築堤工事促進
雑水川に架かる農道橋の架け替え完了。西川取水堰の改築
山本樋門、下江村樋門に着手
雑水川、千々川に架かる J R 橋梁の架け替え完了
- 平成 21 年度 本川・支川の築堤・護岸工事促進
「当面計画」に基づく河道改修の概成
- 平成 22 年度 桂川本川と西川、年谷川の合流部工事着手
保津川遊船前護岸工事着手
「保津川かわまちづくり計画」策定
保津橋下流左岸「花回廊」の一部完成
- 平成 23 年度 桂川本川と西川、年谷川の合流部工事完成
保津川遊船前護岸工事促進
「保津川かわまちづくり推進協議会」設置
雑水川合流部桂川本川下流右岸「花回廊」の一部着手
年谷川下流左岸「野橋立」の一部着手

3 平成23年度及び平成24年度事業（予定）について

河川名	工区名	平成23年度	平成24年度（予定）	
桂川	保津 (旧保津橋～保津峡入り口)	太田 鵜ノ川 下河原 西川 蓼島 年谷川 葛原 雑水川 下中島 閑谷 八ノ坪	詳細設計 高水敷掘削 築堤工事 護岸工事 ほか	用地補償 詳細設計 高水敷掘削 築堤工事 護岸工事 ほか
		曾我谷川		
		字津根		
		大井		
		千々川	農業用水関連工事	
		千代川	堤防補強工事	
		愛宕谷川	用地測量	用地補償
		河原川		
		馬路		
		雑水川 (JR～極楽橋)	詳細設計 護岸工事	詳細設計 護岸工事
犬飼川 (桂川～山内川合流)				
千々川 (JR～京都縦貫道)	護岸工事 農業用水取水施設工事	護岸工事 用地補償		

注：は、桂川の支川処理として、本川合流点からJRまでの区間

■ 戦後最大洪水対応を目指した段階的整備(案)

○戦後最大洪水

・S28年度及びS35出水

・2,200m³/sec

→暫定計画相当

(日吉ダム暫定運用)

○ Step①: 高水敷掘削、堤防かさあげ...かわまちづくり検討対象

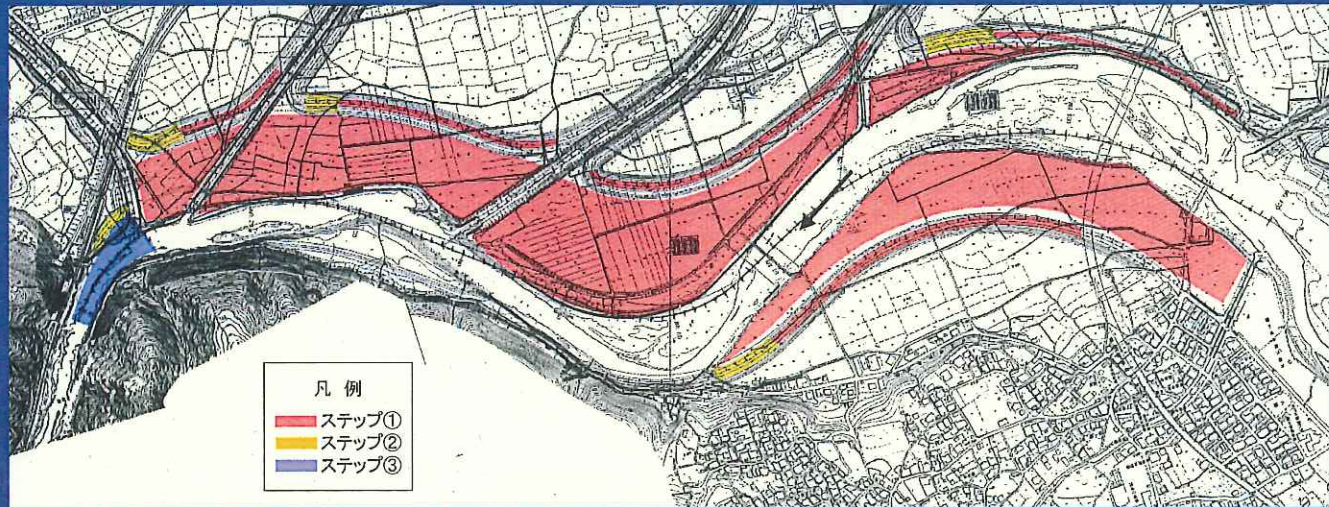
○ Step②: 霞堤のかさ上げ【H16台風23号出水対応】

(下流の整備状況を踏まえて実施)

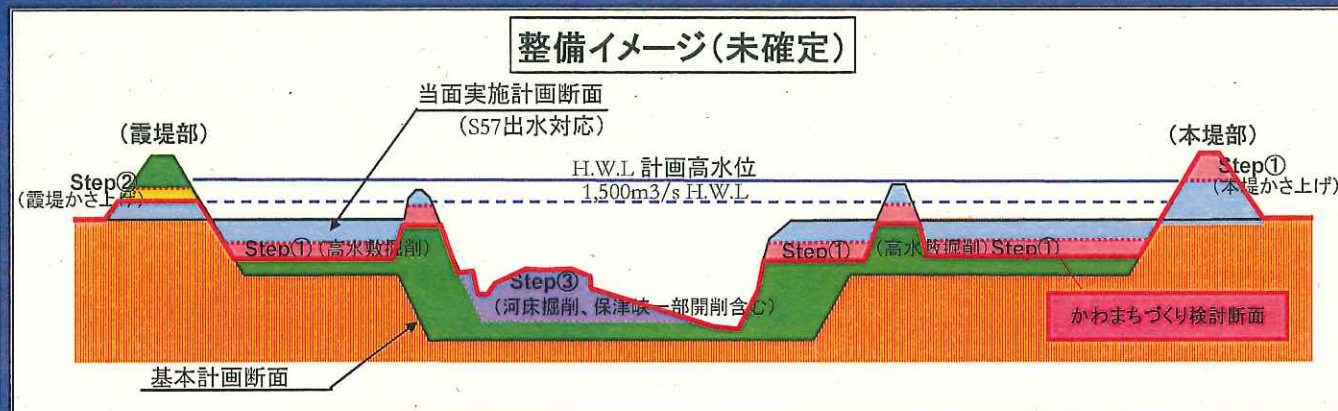
○ Step③: 河床掘削(保津峡一部開削含む)【戦後最大洪水対応】

(さらに下流の整備状況を踏まえて実施)

国と協議中



凡 例	
	当面計画で施工
	Step①
	Step②
	Step③
	基本計画で施工
	かわまちづくり検討計画断面



整備イメージ

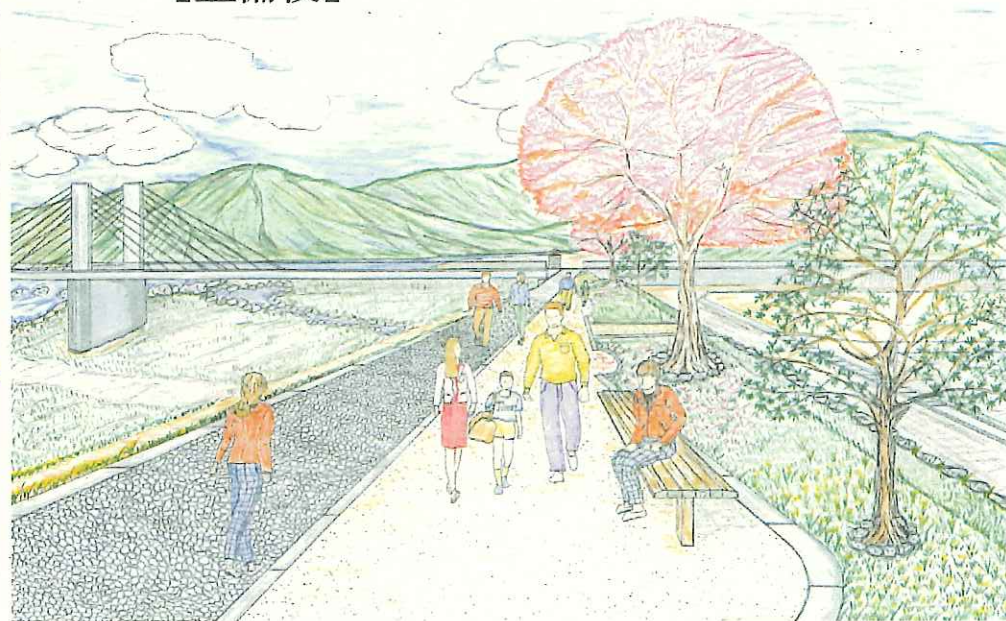
■園路整備の完成イメージ



【整備前(現況)】



【整備後】



桂川平面図(保津工区)
S=1/23,000

花回廊・千本松 植樹当面計画



JR馬堀駅

年谷浄化センター

トロッコ亀岡

JR亀岡駅

保津浄化センター

-  松(22本)植栽
-  桜(27本)植栽
-  桜・紅葉等植栽



名物「千本松」復活へ

亀岡市、年谷川にクロマツ植樹



千本松の復活を目指し、植樹式でクロマツの根元に土をかける関係者(亀岡市保津町)

亀岡市保津町の年谷川下流で27日、かつての名所だった千本松の復活に向け、クロマツの植樹式が行われた。左岸堤防沿いの約160株に若木が並び、出席者は往時の風景の再現を期待した。

左岸160株

保津川に桜も

千本松は、明智光秀が植えたとの伝承が残る。1951年の平和池水害や松くい虫の影響で本数が減り、77年

ごろに姿を消した。亀岡のシンボルを復活させるため、市が植樹した。新たに植えられたクロマツは22本。

害虫に強い品種といいい、堤防沿いに高さ約3.5メートルのマツが並んだ。式典には地元住民も含め約60人が出席。栗山

正隆市長らが、若木の根元にスコップで土をかぶせた。

保津町の元市議、湯淺誠一さん(88)は「戦争で私は生きて戻れたが、亀岡から出兵し千本松を再び見られずに戦地で散った仲間を思うと、感慨深い。地元の人にとって千本松は誇りだった。あと百年生きて、成長を見守りたい」と、感無量の様子だった。

また、マツの植樹に合わせ、近くの保津川沿いで桜の植樹式もあった。若木27本は亀岡ライオンズクラブが寄付した。

市は来年度以降、植樹範囲を広げ、クロマツは年谷川下流兩岸の約800株、桜は保津川右岸の約2・3千まで並木を整備する予定。

(小池直弘)

空間構成の基本的な考え方

●保津川かわまちづくり空間構成の説明

先般のワークショップでの成果や水端農園プランの内容を踏まえ、当計画地の空間構成を検討する。当計画地は大きく、トロッコ亀岡駅側「ふれあいの水辺」ゾーンと西側「いこいの水辺」ゾーン及び、左岸側「にぎわいの水辺」ゾーンの特徴ある3つのゾーンで構成し、それぞれのゾーン特性や強み、洪水時のリスクを考慮し、空間を組み立てる。

【ゾーンの特徴および候補機能】

■ふれあいの水辺ゾーン

当地区の JR 南側は市街化が進んでいるものの、JR より北側はどかな田園風景が広がっており、亀岡らしい風景を保っている地区の特性を持っている。また、この付近の高水敷は洪水時の浸水頻度が高いことから、氾濫との関わりの中で生まれる自然環境を保全し、亀岡らしい故郷景観を満喫できるゾーンと位置づける。また、歴史的な意味のある山本浜は、保津川とのかかわりにおいて重要なことから、再生の試みを行う。

キーワード：▼花畑、ふるさとの風景、山本浜の再生、船付場、川遊び、観光の玄関口

■いこいの水辺ゾーン

JR 亀岡駅や町の中心地区と近接し、今後の土地区画整理事業と相まって、都市化が進むことも予想される地区であることから、日常的で身近なレクリエーションの場所と位置づけ、気分転換やリフレッシュできることのできる場所と位置づける。

キーワード：▼イベント広場、スポーツ広場、ペットと触れ合う広場

■にぎわいの水辺ゾーン

保津川を挟んで、左岸側に位置し、平成 19 年ごろから地元で練られた「水端農園プラン」があり、これに基づき整備されてきた農業公園と隣接するゾーンで、地元農業との結びつきが強い特性を有する地区である。従って、地元で採れた農作物を存分に味わえたり、「生き物との共生」や「自然とのかかわり」を大切に、アウトドア嗜好のゾーンと位置づけ整備する方針とする。また、水辺に直接近づくゾーンでもあったことから、「水とのふれあい」を実現できる特色のある地区である。

キーワード：▼地産地消、BBQ広場、朝水広場、水遊びコーナー、じゃことり

●洪水時の浸水状況図

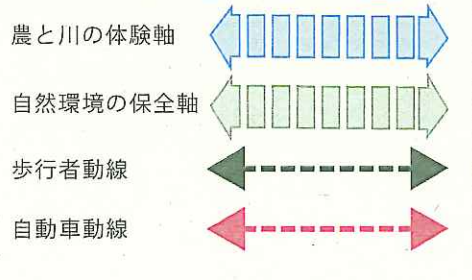
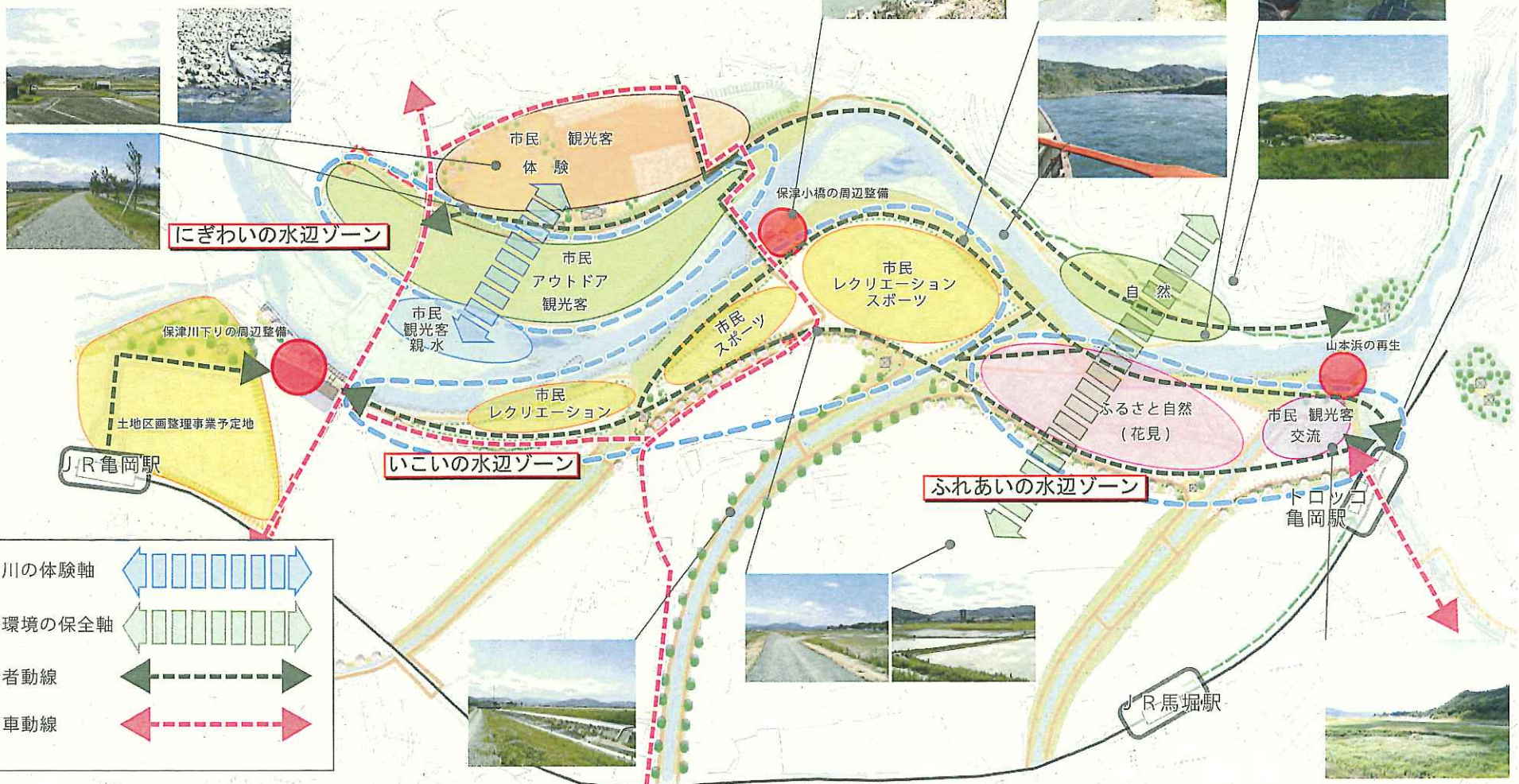


凡 例 (浸水範囲)

50~100m ² /S	…概ね1~2年に1回程度
100~200m ² /S	
200~300m ² /S	
300~400m ² /S	…概ね2~5年に1回程度
400~500m ² /S	
500~600m ² /S	
600~700m ² /S	…概ね5年に1回程度
700~800m ² /S	



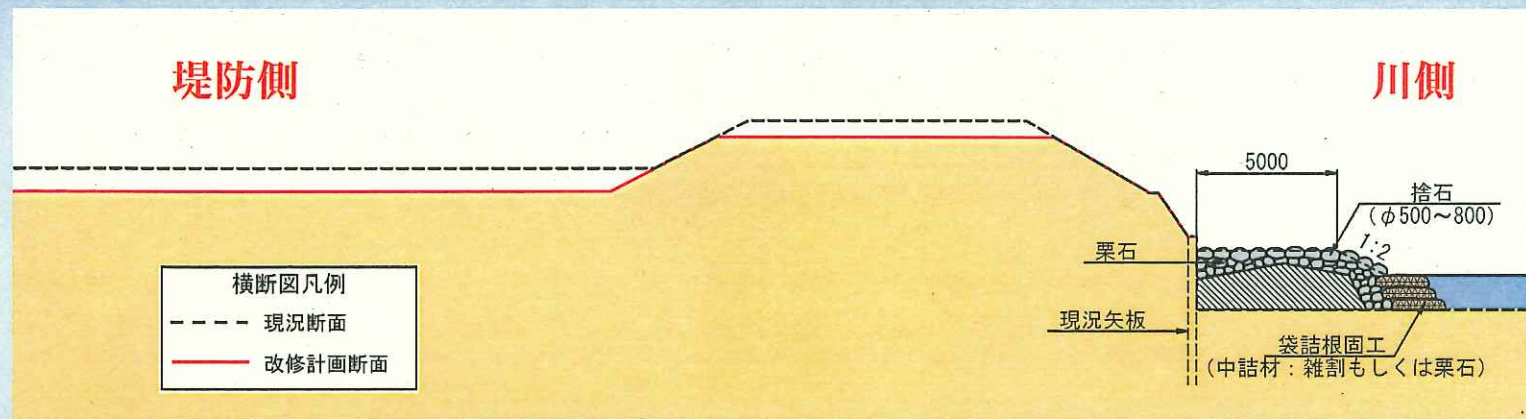
10



水際整備概要

③NO.28【視点1-1,2】

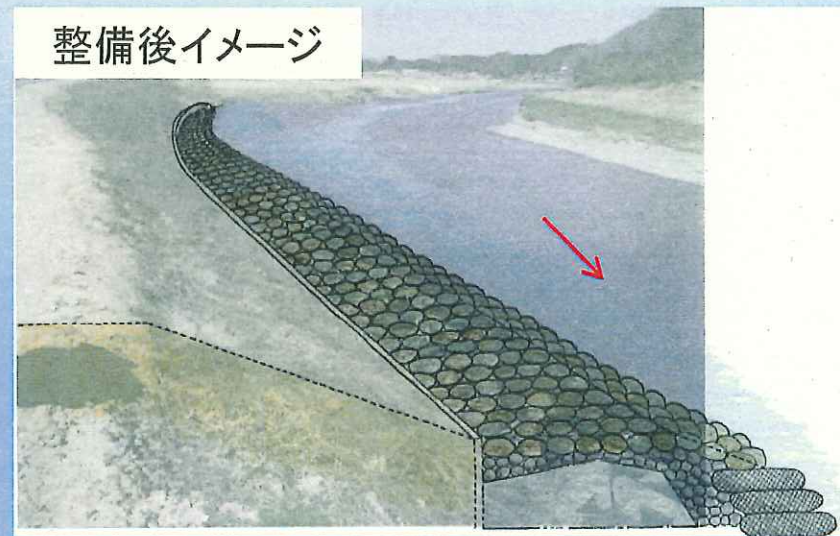
- 捨石工により矢板や根固工等の人工的な景観を改善する。
- 水際に袋詰玉石工や捨石を設置し、魚類等の生息環境を創出する。



整備前



整備後イメージ



上桂川対策特別委員会

平成23年度末 進捗状況

資料提供：淀川河川事務所

場 所	区間延長 (m)	移転対象 家屋数(戸)	買収済 家屋数 (戸)	進捗率 (%)	備 考
淀大下津町	700	30	30	100	築堤完了
淀水垂町	900	85	76	89	
淀樋爪町	800	31	7	22	

※ 家屋数は住居及び倉庫等の建物を含みます。